

臨床研究等の情報公開

研究課題名	手術室業務に携わる看護師の心身の状況にアロマオイルが及ぼす影響
研究機関	青森市民病院 看護局 手術室
研究内容	<p>手術室に配属になった看護師は、清潔操作をはじめとする専門的で特殊な技術を一から習得し、また患者が少しでも安心して手術を受けられるように援助し、安全に手術室看護を提供する必要がある。しかし手術室業務に従事する者が、精神的・身体的に安定した万全の状態で行われるとは限らず、加えて不慣れな業務がさらに精神的・身体的負担となっているのではないかと考える。</p> <p>以前、本研究者が不慣れな業務など不安な状況が多くあったときに、アロマキャンドルやアロマオイルなどを用いることで、過度な緊張感の軽減やリラックス効果を感じた事があった。また、アロマオイルの使用によって、看護師の疲労緩和が示唆された研究結果も報告されている。</p> <p>本研究は、アロマオイルによる数多くの効能が、手術室看護師の心身の状況に対しどのような影響を及ぼすのか検討する。また、アロマオイルが手術室看護師の心身の安定を図り、適切な業務遂行へと繋げていけるかを明らかにする。</p>
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和7年3月31日まで
対象者	手術室の一般業務に従事している手術室看護師 (患者さんは対象となりません)
実施方法	<p>始業前と昼休憩後に、アロマオイルを染み込ませたシールを、マスク外面の中央外側に左右は問わず貼付する。マスクのプリーツ部分の折り目に隠れる様(引っかかりによる剥がれを予防するため)にシールを圧着させ、途中で剥がれないようにしっかり接着する。</p> <p>指定されたアロマオイルを取り、綿棒の先端2～3mm程度染み込ませ、マスクへ付けたアロマシールに軽く叩くように染み込ませる。</p> <p>アロマシールの付いたマスクを着用し手術室業務を行う。昼の休憩時にアロマシールを外し捨て、再度使用する場合は同様の手順で装着して使用する。</p> <p>使用するアロマオイルは、研究者が事前に使用するものを指定して提示しておく。実際に使用するアロマオイルは、「イランイラン」「ラベンダー」「ジャスミン」「グレープフルーツホワイト」「マンダリンコールド</p>

	<p>ブレスト」「ペパーミントプレミアム」「フェンネルスイート」の7種類の中から自由に選択し、使用してもらおう。使用するアロマオイルは、同一の物という指定はなく、その日の気分等によって選んでもらう。研究2ヶ月間のうち、何かしらのアロマオイルを使用した1ヶ月間と、使用していない1ヶ月間調査を行う。アロマオイルを使用するタイミングや日付は、研究対象スタッフの好きなタイミングで行ってもらおう。回数に関しては、アロマオイルを使用するのは1ヶ月間に1スタッフあたり9回、使用しない状況で1ヶ月間に9回アンケートへの回答を行ってもらおう。</p>
参加撤回の自由	<p>本研究への参加同意、参加撤回は自由意志を尊重します。また、研究へご協力いただけないことや撤回したことによって不利益を被らない事をお約束します。</p>
問合せ先	<p>青森市民病院 看護局 手術室看護師 高村 泰輝、野澤 良平 〒030-0821 青森市勝田 1-14-20 TEL：（代表）017-734-2171 （内線）5224</p>